

学校番号	学 校 名
6	羽島北高等学校

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

<p>学校教育目標</p>	<p>校訓「誠実・叡智・進取」に示された言葉の精神を人生の柱として、素直で真面目に表裏を持たず、高い志と真の知恵をもって日本の社会や世界に飛翔できるよう、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を図る。</p> <p>1 興味・関心を高める授業を進め、確かな学力を育成する。 2 自らの進路を切り拓く力を育成する。 3 「命」を大切に作る心、人への思いやりの心を育成する。</p>		
<p>スクール・ポリシー</p>	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 思考力と的確な判断力を身に付けるとともに、自ら進んで学ぶ態度を身に付け、自分の意見をしっかりと持ち他者と協働して課題解決に取り組む生徒 心豊かで思いやりがあり、多様な人々の互いの人格を尊重する人権感覚に富む生徒 地域社会の一員として積極的に考え行動し、常に進取の気概に富む21世紀を担う国際性を備えた生徒 	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発見力・課題解決力を育成するための「課題自体の背景の研究やその調査、探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」・「キャリア教育」の推進 多様な授業形態や活動を「探究的な学び」・「各教科学習」・「高大連携」・「地域連携」に取り入れるとともに、ICTの活用による生徒のコミュニケーション能力伸長と発信力の育成 生徒一人ひとりの個性や長所に応じて、その能力や特性を十分に伸長するとともに、「私が決める、私の未来」と題された生徒本人が自身の進路目標に沿って構築する本校独自の年次を超えた単位制カリキュラムの実施 	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付け、お互いや他者の多様性を尊重し、協働しながら主体的に学ぶ意欲のある生徒 自ら進路志望の明確化を図り、多様な学びに主体的に取り組み、自己の可能性に挑戦し充実した学校生活を送る意欲のある生徒 生徒会活動や部活動などの校内の活動や地域貢献活動などの校外の自主的な活動やボランティア活動に積極的に参加し、より良い学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒
<p>教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)</p>	<p>重点目標の達成に必要な具体的取組、方策</p>		<p>達成度の判断、判定基準あるいは評価指標</p>
<p>1 授業改善を継続し、個々の生徒の学習への興味・関心を高めます。 また、確かな学力の定着と課題解決能力の育成を図り、進路目標達成に向けて努力する姿勢を養成します。</p>	<p>① 多様な選択科目を中心に少人数授業を積極的に展開して、生徒が主体的に学ぶ質の高い授業を提供できるよう努力します。 ② 教科の枠を超えて連携を重視した授業改善に取り組みます。生徒が置かれた状況をより正確に把握し、教員相互による授業評価等の分析により課題を明確にし、教員の授業力向上を図ります。 ③ 総合的な探究の時間を活用し、社会貢献力育成を中心に据え、問いを立てる力や解決に向かう力を育成します。 ④ 授業の予習復習と共に週末課題などにより、家庭においても積極的に学ぶ姿勢の育成を図ります。また、考査等の結果の分析により状況を的確に把握し、学力向上を支援します。</p>		<p>① 授業評価において「自分のレベルにあっている」と評価する生徒が90%以上である。 ② 授業評価において「授業のポイントがわかる」と評価する生徒が90%以上である。 タブレットなどICTを活用した授業に対する肯定的評価が90%以上である。 ③ 探究活動に対する生徒および外部の肯定的評価が70%以上である。 ④ 学習状況アンケートで家庭での学習が適切であると評価する生徒が90%以上である。</p>

<p>2 生徒が自らの将来像を見据え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育めるよう、進路指導の充実を図ります。</p>	<p>① 生徒が第一志望校に合格できるよう、学力の定着や進路相談活動等の充実を図ります。</p> <p>② 総合的な探究の時間を活用して、主体的な進路選択を目指したより効果的な指導計画を作成し、提供します。</p> <p>③ キャリア教育を充実させ、望ましい職業観の育成に努めます。</p> <p>④ 大学入学共通テストの実施をはじめとする大学入試改革についての情報を的確に提供します。規範意識を高め、モラル・マナーが身に付くよう支援するとともに、情報モラルを理解して相手の立場を考慮することのできる生徒を育てます。</p>	<p>① 希望に沿った進路指導についての生徒及び保護者の肯定的評価が80%以上である。</p> <p>② 総合探究の時間に主体的な取組ができたと評価する生徒が70%以上である。</p> <p>③④ 進路講演会・進路別ガイダンス・大学模擬講義等を通して生徒の興味・関心が高まり、生徒の肯定的評価が80%以上である。</p>
<p>3 社会のモラル・マナーについて考え、正しく判断して行動する力を育成します。様々な体験を通して、地域や社会に貢献する態度や思いやりの心を育みます。</p>	<p>① 規範意識を高め、モラル・マナーが身に付くよう支援するとともに、情報モラルを理解して相手の立場を考慮することのできる生徒を育てます。</p> <p>② 部活動への積極的な参加を促し、心身ともに健全な人間の育成を目指します。</p> <p>③ 委員会活動や生徒会活動、学校行事、地域ボランティアなどへの積極的な参加を促し、地域社会の一員としての自覚と自主・自立の精神を養います。</p>	<p>① 交通事故件数が前年度より減っている。情報モラルを理解している。遅刻者数の1日平均が5.0人以下である。</p> <p>② 部活動加入率が80%以上であり、活動内容の肯定的評価が80%以上である。</p> <p>③ 実施された各学校行事・地域ボランティア活動への肯定的評価が70%以上である。</p>